

「全員参加でさらなる活力」



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

2012 年(平成 24 年)5 月 2 日(水) 第 1074 回 例会報告

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (春日 隆志副SAA)

●開会点鐘 (佐藤 義弘会長)

●国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●本日のお客様

警視庁昭島警察署 警視 田渡 茂夫署長様

●会務報告 (佐藤 義弘会長)



4月16日(月)東京武蔵国分寺 RC の 20 周年記念式典が行われました。これについて尾崎会長、田畑実行委員長よりお礼の書状が届いております。

「過日は、ご多用のところ 20 周年記念式典にご臨席を賜り誠に有り難うございます。皆様のお陰をもちまして無事に式典を終えることができましたこと心より深く感謝申し上げます。当クラブ会員一同は、この度の 20 周年を節目として更なる目標に向けて一層充実した奉仕活動に努めてまいり所存でございますので、どうか今後ともよろしくご指導を賜りますようお願いを申し上げます。」ということでございます。

●幹事報告 (蜂巣 義和幹事)



東京立川こぶし RC から「映画鑑賞移動例会」のメーキャップのお誘いがきております。5月29日(火)受付が 11:30~で、映画館を借り切りシネマシティの 8 階で行われます。映画は「おくりびと」でアカデミー賞をとられた滝田洋二郎監督の作品で「天地明察」です。

メーキャップ料はお昼代込みで 1,000 円ですので、非常にお得な例会です。ご希望の方は、幹事蜂巣までお願いいたします。

●卓話 警視庁昭島警察署 警視

田渡茂夫署長様

★講師紹介(小山 寿会員)

本日の講師の田渡先生には、当クラブの青少年野球教室に来ていただいてご挨拶をいただきました。その節はありがとうございました。

我々昭島市 11 万 3 千人の市民が安心して住める町づくりの第一人者として頑張っておられます。今日はあれを言っただけではダメ、これを言っただけではダメということは無く自由に署長さんの言わんとする事を言っただけであれば、大変有難いと思います。



今日はお招きいただきましてありがとうございます。また、普段から昭島警察に関しまして色々な面でご指導いただきまして、ありがとうございます。これからも署員一同、一生懸命昭島の為に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願

いいたします。

まず、警察行政のお話に触れておきますが、今年 1 月に福島町で殺人事件ではないかという事案があったのですが、結果的には自殺ということで 2 週間ほどで片付きました。世間をお騒がせいたしましたことは申し訳ございませんでした。強盗事件等も 3 件くらい発生しておりますが、全て検挙しております。振り込み詐欺は 3 件やられました。300 万以上やられているのですが、前年に比べると減少はしております。交通の話ですが、自転車に気をつけようということで、今年は色々な面で対策を取っております。直近では昭島駅を中心として通りを注意してまわっています。免許がありませんので取り締まりが難しく、切符は切れますが罰金はなかなかとれない状況だったのですが、去年あたりから変わってきて罰金も取られています。

私がこれからイスラムの話をするには訳がありまして、私はもとは刑事です。ずっと刑事をやっております。プロフェッショナルになりたかったのですが、警部になった途端 3 年間サウジアラビアに行かされました。大使館勤務を通じてイスラムの世界に浸ってきたのですが、帰ってきたから外事警察になりまして国際テロの担当になりました。そのようなことでどうしてもイスラムから離れられなくなりまして、それから空港警察の外事課長の任務、機動隊の副隊長、官邸の内閣安全保障室危機管理官の秘書官、広報企画等を経験して副署長、通信資料本部の司令官を経て、昭島警察に来ました。

テロに首を突っ込んでいたのでイスラムの人達と知り

合う機会が多かったので、その辺をお話したいと思いません。結構面白いことが多く、豚を食べないとか、髭を生やすとか、奥さんが4人いるとか色々あるのですが、その中でトルコの話を行います。

イスラムというのは神様に帰依するものという意味です。彼らから言わせると日本人などは無宗教と同じで、節操がないと言われます。「お釈迦様は人間である、人間が言っているのだからあれは哲学だ、ムハンマドは神の言葉を授かってそれを私達に伝えているのだからお前達とは違う」とよく言われました。日本人は生まれるとお宮参りで神社へ行って、結婚式はキリスト教で、お葬式は仏教で、と確かに節操がないのかなと思います。

イスラムの中にはザカート（喜捨）と言って、富める者が貧しい者に寄付をするというのはとても良い事だという教えがあります。最後に審判をされる時に、右肩と左肩にそれぞれ良い事と悪い事が積み重なっていくのですが、ザカートをすると良い事として積み重なっていきます。ザカートの考え方からいくと、日本でムスリムが集まるモスクで一番大きいのは東京ジャーミイがありますが、これは喜捨でトルコが造りました。六本木にもサウジアラビアが造ったモスクがあります。

皆さん、トルコ人で知っている人はおりますでしょうか。アタテュルクというのがトルコ建国の父です。それからロイジェームスもトルコ人です。彼の父は東京モスクの初代のお坊さんです。トルコ料理というのも皆さん食べた事があると思いますが、結構盛んで流行っています。

帝政ロシアの時代、トルコ人は迫害されて日本に逃げてきました。その時に三井財閥などは、土地を提供してそこに学校を造ってモスクを造り、住居を造りました。それから代々居ついているわけです。

トルコ人に何人が好きですかと質問すると、ナンバー1は日本人です。なぜかという、1985年の話なのですが、当時イランイラク戦争がありました。その時にイラクがこれからイラン上空を飛んだ飛行機は全て撃ち落とすというメッセージを出しました。当時日本人が何千人もいたのですが、逃げる時にどうしようかとなった時に日本からは許可が出ず飛行機が来ませんでした。それを当時の日本人在トルコ大使があちこち掛け合っただのですが拒否されてしまい、最後にトルコ大使にお願いに行くのと相談してみようということになりました。もう一つ伊藤忠の方が別のルートで探していったら、トルコの首相と刎頸の友で仲が良く話し合いをした時に、トルコ航空が手を挙げてくれました。そして、いつ攻撃されるか分からない時に2機飛んで来てくれて、その時にはまだイランに6,000人のトルコ人がいたにも関わらず、日本人を乗せてくれました。それはなぜかという、日本ではもう忘れられてしまっているある物語がありまして、これが日本人が大好きだという話に繋がるのです。それは100年くらい遡って明治維新の少し後くらいになるのですが、当時帝政ロシアが南下政策をとって日本を狙っていました。トルコの方も西欧諸国に狙われていました。小松宮親王という方がトルコへ行き、お返しにオスマンという少将が600人の使節団が日本へ来ました。日本で大歓迎を受けて帰る時に紀伊半島の沖で座礁をしました。皆が海へ投げ出された時に、和歌山の400人の村民が総出で助け出し、最終的に69人が助かりました。この話が伝わって全国から募金をしようという話がでましたが、この村はその話を断りました。この話がトルコに帰った人達によって伝わり、今でも学校の教科書などにも残っているそうです。そういう恩義を忘れない国なのです。トルコも含めてイスラムは怖い国だという印象があ

ります。一部には原理主義者という思想を持つ人々がテロをします。目には目を、歯には歯をというのはコーランの一節です。ただし、その続きは「それを分かっているあなたも相手を許すのであれば、善行を積んだことになる」と書いてあるのです。コーランは預言者の言葉をまとめた114章にわたるものです。なかなか良い言葉もたくさんありますので、そのようなことを知らないで怖い怖いというのは、我々も違う感情が生まれてしまうのではないのでしょうか。

★謝辞（柴田 康好会長エレクト）

本日はありがとうございました。昭島警察署の前が、私の会社の事務所なので、朝から晩まで警察の方はよく働いているなあと思ってみておりました。これからよろしく願いいたします。

●ニコニコBOX発表（渡邊 信義親睦副委員長）



- ◎小山会員 内まごが就職しましたのと、自分の祝が少し有りましたので。また田渡署長さん今日の卓話ありがとうございました。
- 佐藤会長 昭島警察署長田渡茂夫様 本日の卓話ありがとうございました。
- ・蜂巣幹事 田渡昭島警察署長様 本日は卓話、ありがとうございました。
- ・伊藤会員 昭島署長本日は卓話ありがとうございました

5月結婚記念 阿部会員・前澤会員

●出席報告（石岡 孝光出席委員長）

会員数 44名 出席義務会員 42名
本日の出席 21名（メイクによる出席者数を除く）

●委員会報告（中野 勝夫情報委員長）



先日のクラブフォーラムはお疲れ様でした。アンケートを回収しておりますが、ぼちぼちというところですので、ほんの一言の意見でも結構ですから、お願いをしたいと思います。

●次週例会予定（工藤 開光職業奉仕委員長）

5月9日（水） 移動例会「IHI そらの未来館」見学

●閉会点鐘（佐藤 義弘会長）